B6FY-1761-02

取扱説明書

ワイヤレスキーボード＆マウスセット（FMV-WKB1B/FMV-WKB1Z）

このたびは、弊社のワイヤレスキーボード＆マウスセット（FMV-WKB1B/FMV-WKB1Z）（以降、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では、本製品をお使いになる上で知っていただきたいことを記載しています。本製品をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いします。

2013 年 4 月

梱包物を確認してください

ご使用いただく前に次のものが梱包されていることをお確かめください。万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

- □ワイヤレスキーボード
- □ワイヤレスマウス
- □ワイヤレスレシーバー
- □単 4 形乾電池 2 本
- □単 3 形乾電池 1 本
- □保証書
- □取扱説明書（本書）

お使いになる前に

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 5 年間です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスについて



上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお申しつけください。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収･リサイクルにお出しください。

B6FY-1761-02

有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月に 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします
・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
キーボード、マウス

消耗品について

・バッテリパックや電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

・本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

商標および著作権

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

⚠警告

❗ **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせないでください。**
発煙・発火・破裂の原因になります。

❗ **電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。**
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。

❗ **充電式電池はお使いにならないでください。**
充分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。
また、故障の原因となる場合があります。

🛇 **清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。**
故障・火災の原因となります。

🛇 **振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。**
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.7）、またはご購入元にご連絡ください。

梱包に使用している袋類は、お子様の手が届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

⚠注意

電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
故障の原因となることがあります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜて使用せずに、2 本の新品電池と交換してください。
電池の液もれや破裂などにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となることがあります。

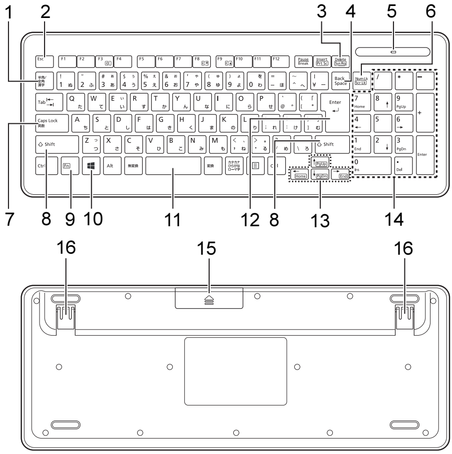
使い切って寿命のなくなった電池はすぐに取り出してください。
電池の液もれなどの原因となることがあります。

使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
液もれ、破裂の原因になります。

キーボードのキートップが外れた状態のまま使用しないでください。
内部の突起物でけがをすることがあります。また、故障の原因となります。特に、小さいお子様が近くにいる場合はご注意ください。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

キーボードの各部の名称と働き



1 半角／全角キー
キーを押すたびに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

2 Esc キー
現在の作業を取り消します。

3 Delete キー
カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

4 Back Space キー
カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

5 状態表示ランプ
キーボードの電池の消耗状態やパソコンとの認識状態を表示します。
電池が消耗している場合は、状態表示ランプが約 2 分オレンジ色に点滅します。オレンジ色に点滅したら、電池を交換してください。入力があると、再度点滅を開始します。

6 NumLK キー
テンキーの機能を切り替えます。
有効になると画面右下に「Num Lock : On」、無効になると「Num Lock : Off」が 3 秒表示されます。

7 Caps Lock ／英数キー
[Shift] を押しながら [CapsLock 英数] を押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。
有効になると画面右下に「Caps Lock : On」、無効になると「Caps Lock : Off」が 3 秒表示されます。

8 Shift キー
[Shift] を押しながら記号の刻印されているキーを押すと、そのキーの上段に刻印されている記号を入力できます。

9 Fn キー

このキーを押しながら□で囲まれたキー（↓PgDn など）を押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

【Fn】＋【F3】	音声出力のON/OFFを切り替えます。
【Fn】＋【F8】	音量を小さくします。
【Fn】＋【F9】	音量を大きくします。
【Fn】＋【←/Home】	カーソルを行の最初に移動します。
【Fn】＋【Ctrl】＋【←/Home】	文章の最初に移動します。
【Fn】＋【↑/PgUp】	前の画面に切り替えます。
【Fn】＋【↓/PgDn】	次の画面に切り替えます。
【Fn】＋【→/End】	カーソルを行の最後に移動します。
【Fn】＋【Ctrl】＋【→/End】	文章の最後に移動します。

10 Windows キー

スタート画面を表示したいときに押します。

11 空白（Space）キー

空白を入力します。

12 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

13 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

14 テンキー

数字や記号を入力します。

15 電池ボックス

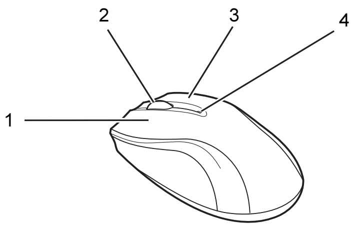
単4形乾電池を2本入れます。

16 高さ調整用フット

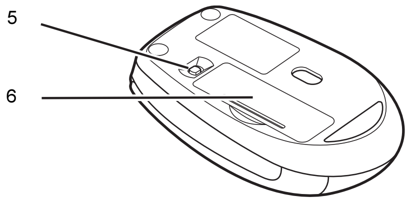
フットを起こすとキーボードに角度をつけることができます。

マウスの各部の名称と働き

●表面



●裏面



1 左ボタン

クリックするとき押します。

2 スクロールホイール

このホイールを回すと、画面を上下にスクロールできます。

3 右ボタン

右クリックするとき押します。

4 ステータスランプ

マウスの電源を入れたときに、電池が消耗していない場合は、約10秒間緑色に点灯します。
電池が消耗している場合は、ステータスランプが約2分赤色に点滅します。赤色に点滅したら、電池を交換してください（→P.6）。マウス入力があると、再度点滅を開始します。
また、パソコンと再認識させる際の操作では、緑色に点滅します。

5 電源スイッチ

マウスの電源を入れたり切ったりします。

6 電池ボックス

単3形乾電池を1本入れます。

使用に適した配置

キーボードやマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。
キーボードおよびマウスは、次のような場所でお使いください。

- ●机の上など平らで安定した場所
- ●パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に充分なスペースがとれる場所
- ●キーボード／マウスからワイヤレスレシーバーまで、最大10m（3m以内を推奨）、左右約45度の範囲（ただし、設置環境により短くなる場合があります。）

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになるうえでの注意

キーボードとマウスを使うときの注意事項について説明します。

- ●次のような環境では、周囲からの電波を受けて、キーボードやマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。

・キーボードやマウスとワイヤレスレシーバーとの距離が離れすぎている場合
・パソコン本体とキーボードやマウスとの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
・パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
・パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
・ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合

●キーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 9 分続くと、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰するとき、最初に押したキーが無効になることがありますが、これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。

●ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい電池に交換してください。

●アルカリ乾電池を使用している場合の寿命目安は、毎日 3.5 時間の使用で、キーボードは約 6ヶ月、マウスは約 3ヶ月です。
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。特にマウスの電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。

●パソコン本体の電源が入っていなくても、キーボードやマウスが動作していると電池が消費されます。また、キーボードやマウスの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。

●長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
キーボードやマウスは、使用せずに放置していても、電池は消耗します。長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

●電池の消耗を抑えるために、マウスを使用しないときは、電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

マウスをお使いになるうえでの注意

光学式マウスは、底面からの光により照らし出されている陰影を検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上だけでなく、衣類の上や紙の上でも使うことができます。

●オプティカル（光学）センサーについて
・マウス底面から発せられている赤い光は、目に悪い影響を与えることがあります。直接見ないようにしてください。
・センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
・発光部分を他の用途に使わないでください。

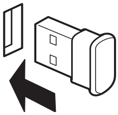
●光学式マウスは非接触でマウスの動きを検知しているため特にマウスパッドを必要としません。なお、マウスは接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、傷防止のためにマウスパッドなどを使用することをお勧めします。マウスパッドを使用する場合は、正しく動作する表面のものを使用してください。

●光学式マウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。
・鏡やガラスなど反射しやすいもの
・光沢のあるもの
・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

キーボード／マウスを準備する

■ワイヤレスレシーバー

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの信号を受け取るアンテナです。
ワイヤレスレシーバーを、パソコン本体の USB コネクタに接続します。

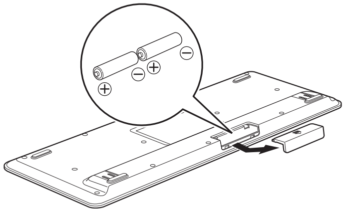


POINT

▶無線LAN搭載機種の場合は、本体背面のUSBコネクタに接続することをお勧めします。

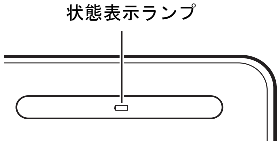
■ワイヤレスキーボード

1 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 4 形乾電池を入れます。



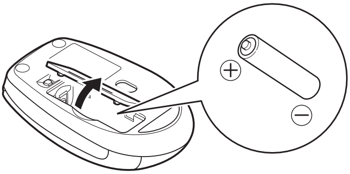
2 電池ボックスのふたを閉めます。

3 状態表示ランプが点滅します。状態表示ランプが点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



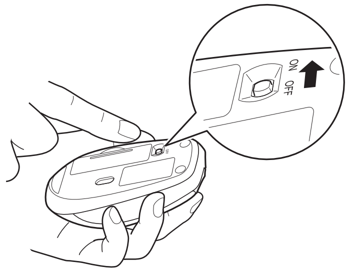
■ワイヤレスマウス

1 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。

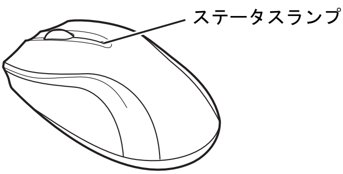


2 電池ボックスのふたを閉めます。

3 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。



電池スイッチを ON 側にしても、ステータスランプが緑色に点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。



マウスの使い方

ここでは、マウスの使い方について説明します。

POINT

▶マウスの設定について
マウスの設定は次の手順で表示する設定画面で変更できます。ただし、設定項目によっては設定が反映されない場合があります。

・Windows 8 の場合
1.スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2.「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。
3.「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。

・Windows 7 の場合
1.「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。
2.「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。

▶スクロールホイールを押したときの動作はお使いの状況により異なります。

▶スクロール機能や戻る・進む機能は、使用するアプリによって動作が異なったり、お使いになれないことがあります。

■クリック

左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すことです。また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。

■ダブルクリック

左ボタンをカチカチッとすばやく2回クリックすることです。

■ポイント

マウスポインター（ ）をアイコンやメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。

■ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター（ ）で掴むようにして移動させることです。
マウスポインター（ ）を任意の位置に移動し、左ボタンを押しながら希望の位置までマウスを移動し、指を離します。

■スクロール

スクロールホイールを回して、画面の表示を動かすことです。

■戻る・進む

スクロールホイールを左右に倒すと、「エクスプローラー」や Web ブラウザーの「戻る」、「進む」と同じ動作をします。

電池を交換する

1 キーボードとマウスを裏返して電池ボックスのふたを開け、電池を入れます。

・ワイヤレスキーボード
　単 4 形乾電池（2 本）
・ワイヤレスマウス
　単 3 形乾電池（1 本）

マウスは、電池を入れたときに表面のステータスランプが約 10 秒間緑色に点灯します。

2 電池ボックスのふたを閉めます。

POINT

- 電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

キーボードやマウスをパソコンに再認識させる

通常お使いの場合は、キーボードやマウスをパソコンに一度認識させれば、再認識させる必要はありません。ただし、次のような場合は、キーボードやマウスを再度パソコンに認識させて、正常に動作するようにしてください。

- ●キーボードやマウスが正しく動作しない場合
- ●近くで使っているパソコンのキーボードやマウスによって、このパソコンが誤動作する場合
- ●2 台以上のパソコンを使用している場合
  ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、電波の混信や誤動作を避けるため、パソコンと 1 対 1 で設定する必要があります。

重要

- パソコンに再認識させるときの注意
  - ・パソコンを設置している環境を確認してください。
    「使用に適した配置」（→ P.4）
    「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになるうえでの注意」（→ P.4）
  - ・キーボードとマウスの両方とも再認識させてください。
    「キーボードをパソコンに再認識させる」（→ P.7）
    「マウスをパソコンに再認識させる」（→ P.7）

POINT

- 電池の交換などで電池を取り出した場合は、キーボードやマウスがパソコンに認識された状態になっています。再認識させる必要はありません。

■キーボードをパソコンに再認識させる

1 パソコンの電源を切ります。

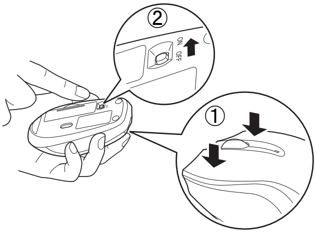
2 キーボードの Esc を押しながら、単 4 形乾電池を入れ直して電池ボックスのふたを閉めます。

3 パソコンの電源を入れます。
キーボードの状態表示ランプの点滅が止まります。
10 秒ほど経過するとランプが消えます。
点滅が止まらない場合は、いったん電池を出し、もう一度手順 1 から操作してください。

■マウスをパソコンに再認識させる

1 パソコンの電源を切ります。

2 ①左ボタンと右ボタンを押しながら、②電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。



マウス表面にあるステータスランプが緑色に点滅します。

3 パソコンの電源を入れます。
マウス表面にあるステータスランプの点滅が止まります。
10 秒ほど経過するとランプが消えます。
点滅が止まらない場合は、いったん電池を出し、もう一度手順 1 から操作してください。

お問い合わせ先

こんなときには	こちらへ	
故障かなと思われたとき	＜法人のお客様＞	
	富士通ハードウェア修理相談センター	
	通話料無料	0120-422-297
	受付時間	9:00 〜 17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
	＜個人のお客様＞	
	故障や修理に関する受付窓口	
	通話料無料	0120-926-220
	受付時間	9:00 〜 19:00（システムメンテナンス日を除く）
技術的なご質問、ご相談	富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口	
	通話料無料	0120-950-222
	受付時間	9:00 〜 17:00（土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く） 受付後に専門技術員からのコールバックとなります。

- ●おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ●各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ●システムメンテナンスのため、受付時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

□個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

仕様一覧

項目	FMV-WKB1B/FMV-WKB1Z
品名	ワイヤレスキーボード （102 キー、無線方式）
キー配列	102 キー（テンキー付）、Windows 8 対応
インターフェイス	RF（無線）方式
通信周波数	2.403GHz ～ 2.480GHz
変調速度 (データ転送レート)	約 62.5kbps
到達距離	最大 10m（3m 以内を推奨、ただし、設置環境により短くなる場合があります）
サポート OS	Windows 8 、Windows 8 Pro 、Windows 7 Ultimate、Windows 7 Professional、Windows 7 Home Premium
電池	単 4 形アルカリ乾電池 または 充電式ニッケル水素電池 2 本
電池寿命 （アルカリ電池使用時）	約 6 ヶ月 （3.5 時間 / 日使用、キーボード実動時間 :3.5 時間のうちの 10%）
Low バッテリー表示	LED 点灯
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	約 389mm ×約 148mm ×約 24mm （チルト未使用時、キートップを含む）
重量	約 410g（電池含まず）

項目	FMV-WKB1B/FMV-WKB1Z
品名	ワイヤレスマウス （1000CPI、無線方式、ホイール式）
セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール
分解能	1000CPI（X、Y 方向）
インターフェイス	RF（無線）方式
通信周波数	2.403GHz ～ 2.480GHz
変調速度 (データ転送レート)	約 62.5kbps
到達距離	最大 10m（3m 以内を推奨、ただし、設置環境により短くなる場合があります）
サポート OS	Windows 8 、Windows 8 Pro 、Windows 7 Ultimate、Windows 7 Professional、Windows 7 Home Premium
電池	単 3 形アルカリ乾電池 または 充電式ニッケル水素電池 1 本
電池寿命 （アルカリ電池使用時）	約 3 ヶ月 （3.5 時間 / 日使用、キーボード実動時間 :3.5 時間のうちの 13.5%）
Low バッテリー表示	LED 点灯
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	約 62mm ×約 115mm ×約 40mm
重量	約 73g（電池含まず）

ワイヤレスキーボード＆マウスセット
（FMV-WKB1B/FMV-WKB1Z）取扱説明書
B6FY-1761-02-00

発 行 日　2013 年 4 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

㋐1304-1